

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成26年5月29日

兵庫県知事 殿

提出者

住 所 兵庫県加古川市平岡町高畑451

氏 名 日本ハムファクトリー株式会社兵庫工場

工場長 中谷 章一

電話番号 (079) 424-2781

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本ハムファクトリー株式会社 兵庫工場
事業場の所在地	兵庫県加古川市平岡町高畑451
計画期間	平成26年4月1日から平成27年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	0912 肉加工品製造業
②事業の規模	製造品出荷額 10,58千万円
③従業員数	675人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
別紙の通り		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
①現状	【前年度（ 25 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	排 出 量	t
	(これまでに実施した取組) ・ IS014001における省資源化の活動や、余剰汚泥管理方法見直しによる低減が寄与し、排出量全体で昨年比3割減となった。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	排 出 量	t
	(今後実施する予定の取組) ・引き続きIS014001の省資源化の活動を行うとともに、廃棄物の排出抑制を推進していく。	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・工程毎に発生した物を、各種類別に区画された一時保管場所に分別収集し管理する。	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・引き続き分別収集、管理を行うとともに、工程内の廃棄物分別の推進を行う。	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 25 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 25 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 脱水効率の向上による脱水汚泥中の含水率の低減を行う。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 引き続き、脱水効率の向上による脱水汚泥中の含水率の低減を行うと共に、脱水汚泥の乾燥を行い、減量比率の最適化を図る。			

## (第4面)

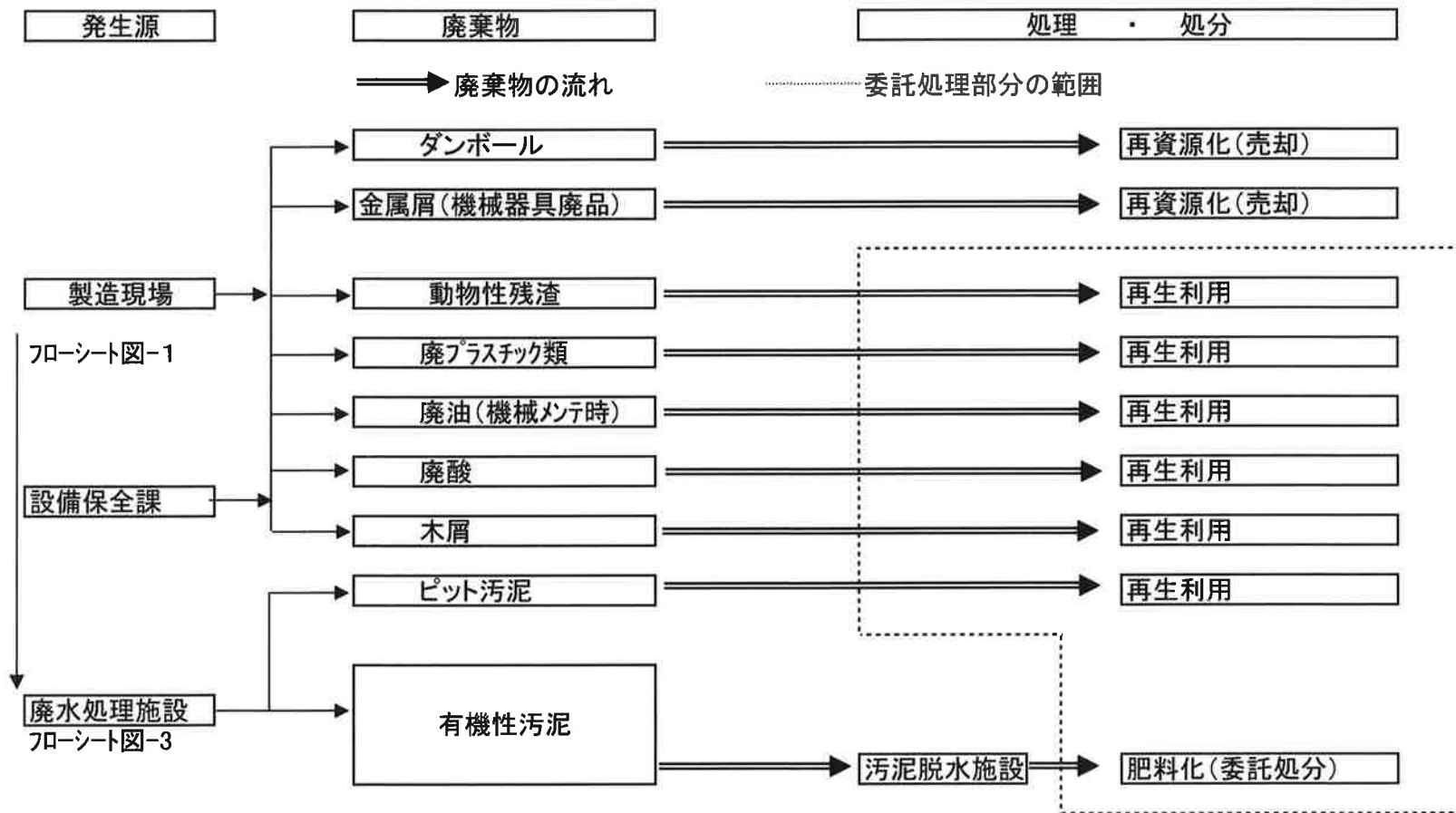
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
①現状	【前年度（ 25 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組) 特になし。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
①現状	【前年度（ 25 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	(これまでに実施した取組) ・リサイクル業者への排出を行うなど排出廃棄物のリサイクルを推進してきた結果、リサイクル率100%を達成した。	

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t t
	再生利用業者への 処理委託量	t t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t t
(今後実施する予定の取組) ・引き続き、リサイクル業者への排出を行い、排出廃棄物のリサイクルを積極的に推進する。		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

当該事業場において現に行っている事業に関する事項  
 ④産業廃棄物の一連の処理の工程



製造等フローシート(別紙1)

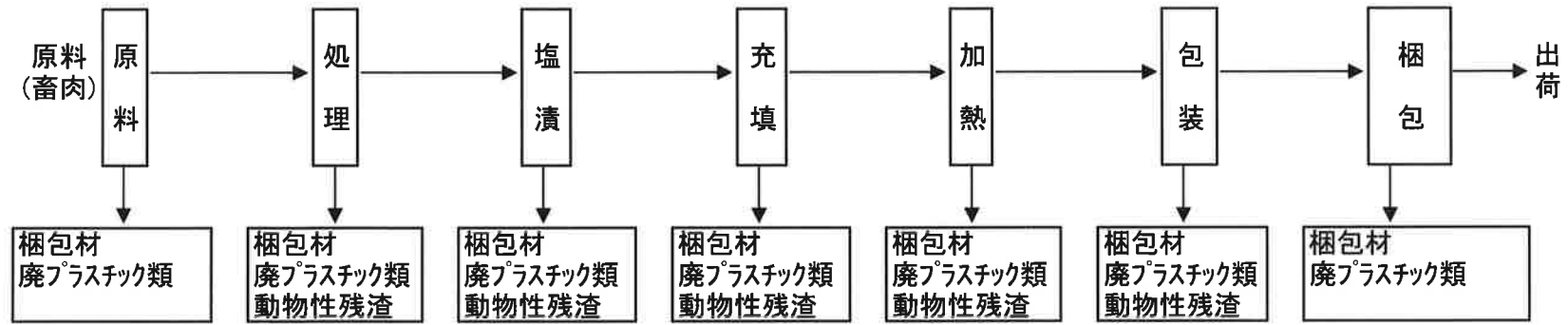


図-1 ハム・ソーセージその他製造フローシート

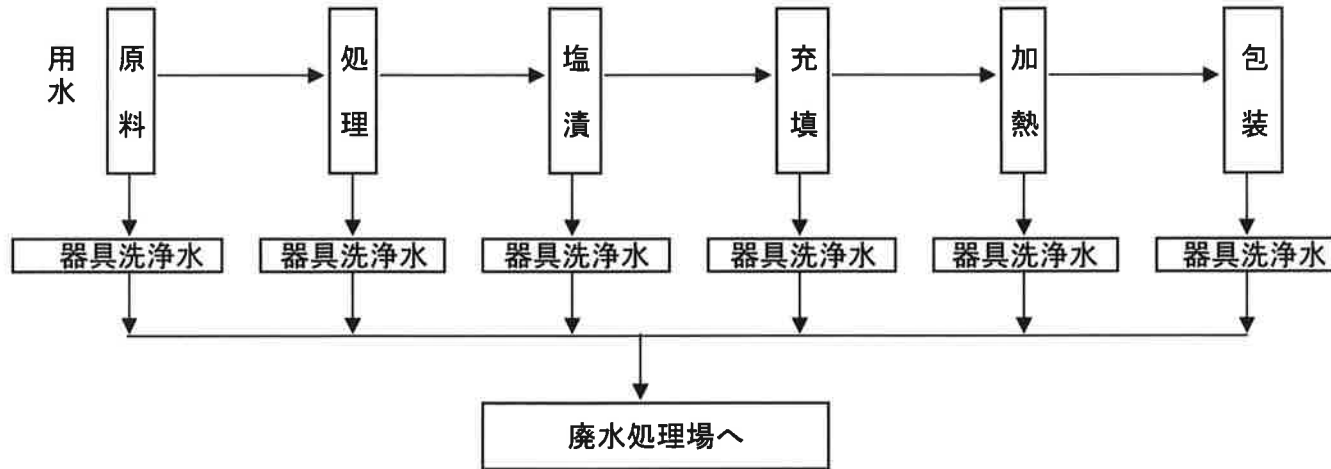


図-2 排水系統フローシート



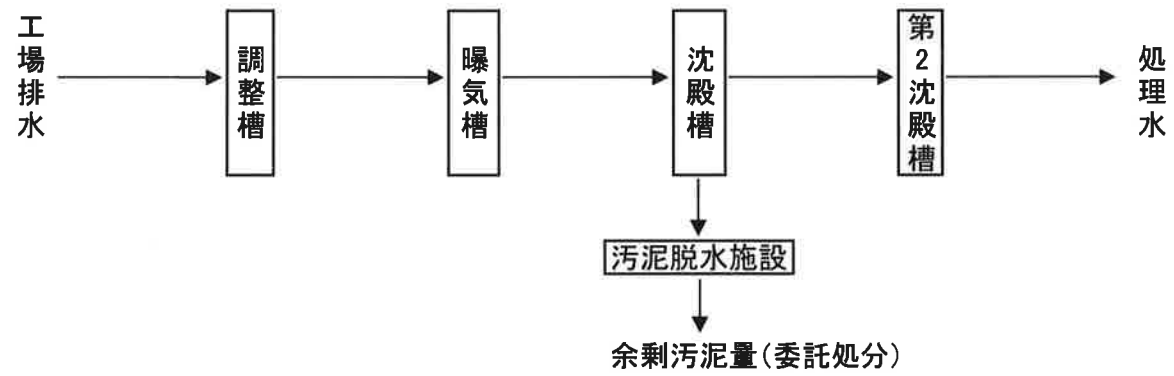
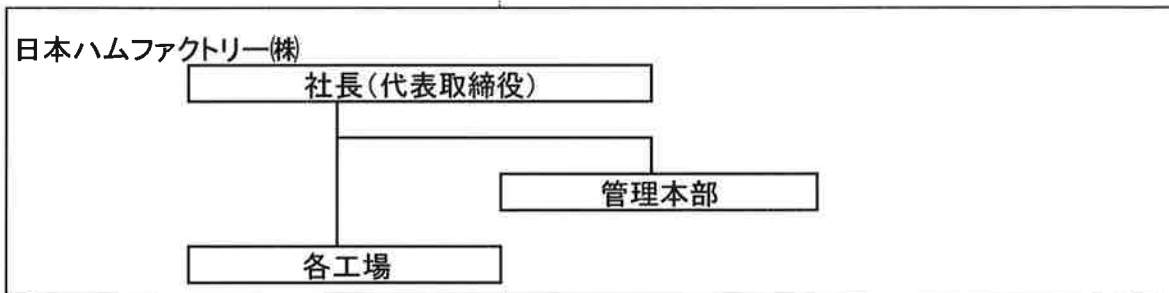
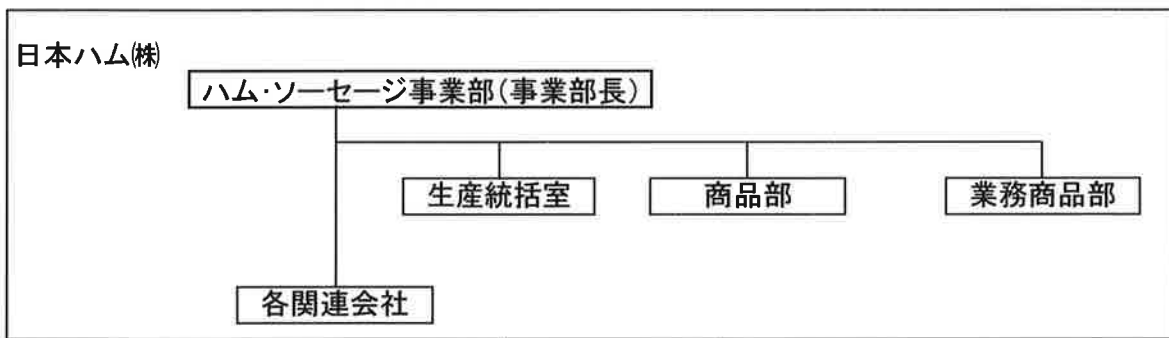


図-3 廃水処理場フローシート

(1) 責任者及び管理組織図

統括責任者	所属： 日本ハムファクトリー(株)兵庫工場	兵庫工場工場長
廃棄物担当	組織名： 設備保全課 組織人数： 15人	設備保全課長
役割	工場管理職会議	* 廃棄物処理に関する検討 廃棄物発生、再生利用、処理計画及び管理一般の検討 ・工場長及び全管理職(課長以上)
	統括責任者	* 廃棄物処理に関する検討の決定、承認 * 廃棄物処理計画の決定、承認
割	廃棄物担当課長	* 廃棄物処理計画の作成 * 廃棄物管理状況の把握 * 廃棄物処理施設の運転、維持管理 * 廃棄物処理業者、再生利用業者調査、選定及び管理 * 廃棄物処理委託契約の締結 * 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理表の交付・管理 * 監督官庁への各種報告 * 社員、関連会社に対する教育・啓蒙 * その他関係する事項

廃棄物管理組織



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

現状 前年度(平成25年度)実績

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	動物性残渣	ガラス屑	廃酸	燃え殻	木屑	汚泥		
							ピット汚泥	余剰汚泥	
排出量実績(t)	388	591	0.68	6.70	22	0.00	23	8,103	*脱水前

計画 目標

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	動物性残渣	ガラス屑	廃酸	燃え殻	木屑	汚泥		
							ピット汚泥	余剰汚泥	
排出量目標(t)	380	579	0.66	6.56	21	0.00	22	7,940	*脱水前

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

現状 前年度(平成25年度)実績

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	動物性残渣	ガラス屑	廃酸	燃え殻	木屑	汚泥	
							ピット汚泥	余剰汚泥
自ら再生利用を行った産業廃棄物量の実績(t)	—	—	—	—	—	—	—	—

計画 目標

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	動物性残渣	ガラス屑	廃酸	燃え殻	木屑	汚泥	
							ピット汚泥	余剰汚泥
自ら再生利用を行う産業廃棄物の目標(t)	—	—	—	—	—	—	—	—

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

現状 前年度(平成25年度)実績

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	動物性残渣	ガラス屑	廃酸	燃え殻	木屑	汚泥	
							ピット汚泥	余剰汚泥
自ら熱回収を行った産業廃棄物量の実績(t)	—	—	—	—	—	—	—	—
自ら中間処理により減量した産業廃棄物量の実績(t)	—	—	—	—	—	—	—	7,048

計画 目標

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	動物性残渣	ガラス屑	廃酸	燃え殻	木屑	汚泥	
							ピット汚泥	余剰汚泥
自ら熱回収を行う産業廃棄物の目標(t)	—	—	—	—	—	—	—	—
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の目標(t)	—	—	—	—	—	—	—	6,907

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

現状 前年度(平成25年度)実績

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	動物性残渣	ガラス屑	廃酸	燃え殻	木屑	汚泥	
							ピット汚泥	余剰汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物量の実績(t)	—	—	—	—	—	—	—	—

計画 目標

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	動物性残渣	ガラス屑	廃酸	燃え殻	木屑	汚泥	
							ピット汚泥	余剰汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物量の目標(t)	—	—	—	—	—	—	—	—

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

現状 前年度(平成25年度)実績

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	動物性残渣	ガラス屑	廃酸	燃え殻	木屑	汚泥	
							ピット汚泥	余剰汚泥
全処理委託量実績(t)	388	591	0.68	6.70	22	0.00	23	1,055
優良認定処理業者への処理委託量実績(t)	31	591	0.00	0.00	0	0.00	0	0
再生利用業者への処理委託量実績(t)	357	0	0.68	6.70	22	0.00	23	1,055
認定熱回収業者への処理委託量実績(t)	0	0	0.00	0.00	0	0.00	0	0
認定熱回収業者以外への熱回収を行う業者への処理委託量実績(t)	0	0	0.00	0.00	0	0.00	0	0

計画 目標

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	動物性残渣	ガラス屑	廃酸	燃え殻	木屑	汚泥	
							ピット汚泥	余剰汚泥
全処理委託量目標(t)	380	579	0.66	6.56	21	0.00	22	1,033
優良認定処理業者への処理委託量目標(t)	30	579	0.00	0.00	0	0.00	0	0
再生利用業者への処理委託量目標(t)	350	0	0.66	6.56	21	0.00	22	1,033
認定熱回収業者への処理委託量目標(t)	0	0	0.00	0.00	0	0.00	0	0
認定熱回収業者以外への熱回収を行う業者への処理委託量目標(t)	0	0	0.00	0.00	0	0.00	0	0